

講演会型+サロン型(小中学校)

学校名等	第2回関市小中学校家庭教育学級講演会
実施日時	令和7年11月27日(木)<講演会> 14:00~15:00 <出前子育てサロン>15:10~16:00
会場	メイン会場(対面):関市立桜ヶ丘中学校 サブ会場(オンライン):関市立下有知中学校・桜ヶ丘小学校・ 田原小学校・富岡小学校・洞戸小学校・上之保小学校
参加人数	72人
学習課題(分野)	家族の大切さ(親子のコミュニケーション)
運営者の願い	子どもの主体性を大切にし、親子のより良い関係を築けるようワークショップ型の講演会を企画した。さらに、保護者同士が気軽に交流し合い、子育てのヒントを掴んだり、悩みや不安等を軽減したりすることができるよう関市家庭教育サポーターによる『出前子育てサロン』を講演会とセットで開催できるようにした。

学習の内容

<どんな講演会だったの?>

- ◇テーマ:『今どきの子育て~よりよいコミュニケーションを~』
- ◇講師:ブランプリュス代表・色育アドバイザー 渡辺 佳奈子 氏
- ・講師の渡辺氏は、日本色育推進会色育アドバイザー。ワークシートを用いて少人数グループで意見交流をしたり、色塗りをしたりしながら、他者とのコミュニケーションの図り方について学ぶワークショップ型の講演会になった。配信は、関市教育委員会 ICT 支援員が担った。

メイン会場



サブ会場



《参加者の感想》

- ・楽しい時間はあっという間に過ぎてしまい、「まだやりたい!」と思えるくらい充実した時間となりました。色育を通して、改めて自分のこと、家族のことを大切に感じる事ができました。「人それぞれ感じ方は違う」「話をしてみる(聞いてみる)ことで相手のことが分かる」といったことを学びました。頭ごなしに否定するのではなく、まずは話を聞くことから始めようと思いました。今後の子育てに活かします!
- ・ワークショップ形式だったため、保護者の方同士が温かい雰囲気の中、楽しくお話をしながら会を進めることができました。参加された方から、「楽しかった」「参加してよかった」「もっと多くの人に参加すると良いと思った」という感想をいただきました。生涯学習課の方でさまざまな準備をしていただき、ありがとうございました。

<家庭教育サポーターによる“出前子育てサロン”>

桜ヶ丘中学校と下有知中学校では講演会後に「出前子育てサロン」を開催した。講演を聴いて感じたことや、日頃子どもと向き合う中でイライラしてしまったこと、笑顔になれたこと等を少人数グループで交流した。
「私だけじゃないですね」「それ、いいですね。私もやってみよう!」と互いに学び合う素敵な時間になった。

県作成『みんなて子育て』を活用



交流の3つの約束
[参加・尊重・守秘]



関市役所生涯学習課と学校・PTAとの連携

関市協働推進部生涯学習課では、『持続可能な家庭教育学級』を目指し、保護者や学校の負担を軽減する等様々な工夫をしています。この講演会もその一つです。

- 企画・運営(講師選定、日程調整、チラシ作成、当日運営等):生涯学習課
 - 講演会への参加決定、チラシ配付、会場設営等:学校、PTA 家庭教育委員等
- ハイブリット型で開催することで、一度に複数校が参加したり、児童生徒と保護者が一緒に参加したりすることも可能になりました。
※第1回目は、「情報モラル教育~あなたの子どもを守るのはあなたしかいない~」を開催。



“出前子育てサロン”でほっと一息

コロナ禍以降、保護者同士の繋がりが希薄になってきている状況が伺えます。そこで、関市家庭教育サポーターが学校に出向き、保護者同士が気軽に日頃の悩み等を交流し、ほっと一息つける場を提供する『出前子育てサロン』を始めました。

※関市家庭教育サポーターは、『関市家庭教育支援チーム~宝 Seki(ほうせき)』のメンバーです。乳幼児期家庭教育学級の運営や子育て相談会等の家庭教育支援を担っています。

